

令和 5 年 4 月 14 日

報道関係各位

独立行政法人国立科学博物館

日本屈指の品種展示数を誇る コレクション特別公開「さくらそう品種展」のご案内

国立科学博物館筑波実験植物園（園長：細矢剛）は、来る 4 月 15 日（土）から 4 月 23 日（日）まで、コレクション特別公開「さくらそう品種展」を開催いたします。



写真左：江戸末期に作出された品種「霞の衣」



写真右：多様な品種は、1種の野生種「サクラソウ」から作出された

さくらそう品種展では、国内屈指のさくらそう品種コレクション 100 品種以上を特別公開します。

さくらそうの多様な園芸品種は、日本の野山に自生するわずか 1 種の野生種をもとに、江戸時代から作出されてきたものです。本公開展示では、さくらそう園芸品種の作出の歴史を科学的に紐解き、日本の伝統園芸文化をお伝えします。

江戸時代から受け継がれる日本の伝統園芸の粋をご覧ください。

つきましては、展示のオープンに先立ち、4 月 14 日（金）午後 2 時 30 分～3 時 30 分の間プレス内覧会を筑波実験植物園（茨城県つくば市）にて実施いたしますので、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：豊田晃郎 中山瑠衣

担当研究員：田中 法生（植物研究部 多様性解析・保全グループ）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-853-8984 FAX:029-853-8998

E-mail:t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP

<https://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP

<https://tbg.kahaku.go.jp/>

コレクション特別公開「さくらそう品種展」実施要項

1. 目的 日本野生サクラソウを遺伝資源として育成されてきた伝統園芸のさくらそう品種を公開し、その一部を江戸時代から続く鑑賞方法で展示し、伝統園芸の奥深さを紹介します。
2. 名称 コレクション特別公開「さくらそう品種展」
3. 主催 独立行政法人国立科学博物館筑波実験植物園、筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター
4. 協力 筑波大学さくらそう里親の会、NPO つくばアーバンガーデニング
5. 会期 令和5年4月15日（土）～令和5年4月23日（日）計8日間
（4月17日（月）休園）
6. 場所 国立科学博物館筑波実験植物園教育棟及びその周辺
7. 展示構成

① さくらそう園芸品種の展示

筑波大学が保有するさくらそう園芸品種 100 品種以上を展示します。

② さくらそう園芸品種の作出の歴史

サクラソウの野生種からの園芸品種作出、多様化の歴史について最近明らかになってきた科学的知見とともに、パネル紹介します。



伝統的な鑑賞方法「桜草花壇」